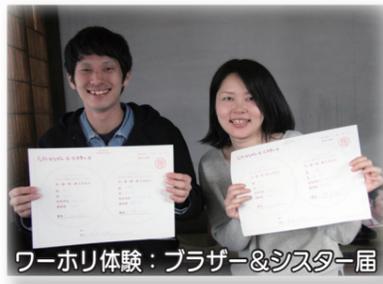


が、地域の人が私にいろいろ手を差し伸べてくれたので、今度は、移住してくる人に「ひよこのお鍋」から情報を発信できたらと思います。

**深澤** 鳥取市のみなさんは少しシャイですが、気軽に声をかけるといろいろ教えていただけると思っています。また、中心市街地では空き店舗などを活用した取り組みが行われていますので、交流を深めることでさらに活力あるまちになると思います。

**岩田** 自分たちで企画して、地域の人や教授の知恵を借りながら挑戦していくという思いで、入学して1年目に起業部を立ち上げました。そんなときに用瀬町の人が声をかけていただき、空き家を使って活動を始めました。「もちがせ週末住人」と自分たちを名づけ、大学に通いながら週末に用瀬に来てイベントを開いたり地域の行事に参加したりして



ワーホリ体験：プラザー&シスター 届

ティビティに関して後進国だと思いません。カナダやニュージーランドなどアウトドアアクティビティの先進国と比べたらまだまだ差があり、海外から来られるお客さんはよくご存知です。日本のアクティビティをその水準にまで持っていきたいです。鳥取市には誰も知らない、埋もれている財産があるので、うまく活用すればそこで雇用も生まれますし、まだまだ可能性があると思います。僕も見えていない、知らないところがたくさんあるので、探しに行きます。

**深澤** 自然を生かした取り組みを今こそ進めていくべきですし、ファットバイクの取り組みもまだまだ可能性がと思っています。鳥取市の資源を多くのみなさんに知っていただく機会になるのではないかと感じました。

**関** 私の周りでは、27歳から34、35歳くらいの結婚して子育てもしていない人で、「ときめき女子」を合言葉にいろいろ活動をしています。ワーホリ体験に来られた人は「ときめき女子」世代の人が多く、「これがしたかったんです」「こういうふうになりたかった」と言

います。民泊施設は去年の1月と10月に2件オープンしました。

**深澤** 直接地域に出かけているんな取り組みを進めていただき、鳥取市がさらに活力あるまちになることを期待しています。また、外国人観光客が増え、今の宿泊施設だけでは十分ではありません。外国人にとって民泊は非常に魅力的だと思えますので、これからも民泊の取り組みを進めていただきたいと思っています。

**いつまでも住みたい 鳥取市であるために**

**深澤** 鳥取市の人口は2005年をピークに徐々に減り続けていますが、2006年9月から移住定住の相談窓口を設置して移住定住の促進に取り組み、昨年までに2300人を超える人に移住していただきました。ただし、若い世代の市外への転出が多く、人口減少の要因のひとつとなつていいます。何とか食い止めて、鳥取市に若い人が住んで活躍をしていただく、そのような政策、施策が必要でありしっかり取り組んでいきたいと考えています。

**岩田** 地域のいろいろな人と関わりを持つことによって、鳥取市

に初めました。

**岩田** ただホテルに宿泊して帰るのではなく、宿泊を通じてその地域の暮らしに触れることが鳥取市を楽しむコツかなと思います。地域の暮らしにはいろいろな形がありますので、ワーホリはいろいろな魅力が感じられるチャンスがあり、すごい魅力的ですね。

**関** たぶん周りの人からしてみたら普通のことなんですけど、鳥取市に初めて来て、何か活動してみようと思っただけで、人間からすると、鳥取市はやりたいたいことを自由になさってくれるいい場所だと思えます。

**小椋** 僕がしているのは鳥取砂丘で自転車に乗ってもらう体験なんですけど、みなさん、アスファルト以外のところを自転車で乗ったことがほとんどないと思います。鳥取市にあれば都会では味わ



ワーホリ体験：マーケット出店準備

にこのままだとと思うようになります。高校生や大学生のうち地域と関わりを持つことで、ここがいいなと思えるような居場所を見つけられることが大事だと思います。

**深澤** 若い人が鳥取市に定住して活躍するためには、雇用の場がま

**岩田** 「高校生旅行社」というプロジェクトがあり、地元の高校生が鳥取の魅力を発信してそれをツアーにしてアテンドする、これに自分も携わっているのですが、鳥取はチャンスが多いと気づけたら可能性は広がると思います。

**徳本** 鳥取市に移住してくる人はやはり子育て世代だと思います。でもそういう人は鳥取市暮らしを知ることがなく、田舎は不便というイメージが強いので、必要なものは全部そろそろ、子どもにとっても大人にとってもものんびりできる場所、マイペースで生活がで

えないような非日常、変わったことができるといった良さをもつと味わいに来てほしいです。

**徳本** 鳥取市に来て本場に良かったと思います。東京にいたときは、こういう生活があるとわからなかったのですが、今は東京の友達にたくさん教えてあげたいと思います。あと、鳥取市のどこでも森のようにちえんがでるなと思っています。

**深澤** 鳥取市では地方創生にかか

**2018年にかける思い**

きる場所だともっと都会にアピールする方法があればいいですね。

**幼児期** にたくさん五感を磨いてくれる自然の中で過ごしてほしいという思いがありますので、大人が先生ではなく見守る役目となつて森のようちえんにもつと来ていただきたいです。実際、自然保育に興味がある人は都会の人が多く、自然のすばらしさは鳥取市にいる人よりも外から見ているの方が魅力を感じています。

**深澤** これからの時代に貴重になるのは、豊かな自然、すばらしい環境だと思います。鳥取市は交通インフラが十分ではないという状況もあり、大都市圏との距離感があります。今はICT技術が進化してその距離感縮められており、都会と遜色ないライフスタイルが実現できると思います。

**小椋** 日本はまだアウトドアアク

迎えたいと思います。

**小椋** 去年話題になった砂丘のファットバイクの写真のような、まだまだ知らない鳥取市を僕なりの視点で、ちょっと変わった視点で鳥取市の魅力を伝えていけたらと思います。がんばります。

**徳本** 幸せな親子が増えるように、森のようちえんといえれば鳥取市というくらい日本で有名になるようにがんばっていききたいのと、鳥取市は本場にすばらしい自然とすぐいい人たちがいるので、そこに気づいてもらえるような活動をしたいです。

**深澤** 新春にふさわしいすばらしいお話を伺うことができました。ありがとうございます。

鳥取市は、4月に中核市に移行します。中核市移行も一つの契機としながら、鳥取市の持てる資源や可能性を大いに生かしながら、夢と希望、自信と誇りが持てるまちであり続けるために、今年もみなさんとがんばっていきます。

※座談会の内容は要約しています。



ワーホリ体験：自然体験

座談会の模様は、いなびりよんぴよんネット(12ch)で放送します。  
▼日時：1月1日(月・祝)～4日(木) 6:00～、12:00～、21:00～  
ほか